



県民祈りの日～平和集会～

8 月 9 日に長崎県の子どもたちは、学校に行く日があるという、他県の子どもたちは「夏休みなのになぜ？」となる子が多いそうです。

私たち長崎県民にとって 8 月 9 日は平和を祈る大切な日です。世界の多くの国や地域の中で、被爆したのは広島と長崎だけです。そして、長崎は最後の被爆地としなければなりません。それだけ、8 月 9 日は意義深い日なのです。

小長井小学校でも各学年による平和学習の成果を発表してくれました。また、4 年生は原爆資料館に社会科見学に行って平和への学びを深めました。

今日の校長の話では、小学生ができる「平和を大切にする」を次の 4 つとして伝えました。

- ・人に対して意地悪やいじめことをしないこと
- ・「ごめんなさい」「ありがとう」をきちんと言えること
- ・自分のしていることがみんなの迷惑になっていないか考えること
- ・当番や係、委員会などの自分のできること、自分の役割に責任をもち、みんなの役に立つこと

これらのことは、他者と心地よく関わることにつながります。まずは、自分と自分の周りの人が心地よく過ごせることから始め、自分たちの身近な平和を考えてほしいことを話しました。

世界の平和というような大きな平和は、身近な平和の積み重ねやつながりの先にあるのではないかなと思います。この身近な平和を自分が乱していないかよく振り返ることの大切さを伝えました。

世界に目をやると、戦火に焼かれている国が 21 世紀を四半世紀過ぎた今も少なくありません。8 月は報道や番組でも平和をテーマにしたものが多く取り上げられます。ご家庭でも平和についてお子様と話をされる時間をつくられてみてはいかがでしょうか。